

1 題材名

『軍都千葉と千葉空襲！』 —なぜアメリカ軍は、千葉市に大規模な空襲を加えたのだろうか？—
～軍隊と共に歩んだ町の千葉市と、そこでくらしていた人々の生活についての生活について考える～

2 授業のねらい

- ①戦時中の千葉市は「軍都」（軍隊の街）と呼ばれるくらい軍隊関係の施設（鉄道連隊・陸軍歩兵学校・気球連隊・陸軍戦車学校等）が多くありました。戦前の千葉の街の写真には多くの兵隊さんが写っています。当時の写真や資料から現在の地図と比べて、戦前の千葉市の「軍都」の様子を捉えていきたいと思います。
- ②千葉空襲は、千葉市中心部の軍隊の施設と、街そのものをねらって行われた大きな2回の空襲がありました。その被害を数字だけで捉えるのではなく、被害を受けた地域を現在の中央区の地図に落とし込み、今ある学校や公共施設が戦前は空襲で焼け野原になり、多くの犠牲者や被害が出たことを戦後まとめられた空襲記録を読み、平和の大切さについて考えさせていきたい。

3 指導計画上の位置付けと各学校での取り上げ方（1時間扱い）

- ◇6年社会科 市指導計画 11「長く続いた戦争 空襲で日本の都市が焼かれる」と関連します。
- ◇東京書籍6年社会科教科書 「世界に歩み出した日本」の「空襲で日本の都市が焼かれる」と関連します。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①千葉公園にある戦前の鉄道連隊の訓練用トンネル跡や橋脚跡の写真から、千葉公園になぜこのような戦跡が多く残っているのか、また戦前の千葉市はどんな街だったのかについて疑問を持ち、学習問題を作る。
- ②当時は千葉駅周辺に軍隊関係の施設（鉄道連隊・陸軍歩兵学校・気球連隊・陸軍戦車学校等）が、数多くあったことを地図から読み取り、特に鉄道連隊が行っていた演習や鉄道路線を現在の地図上で確認しながら、これらの軍事施設は当時の千葉市の人々の積極的な誘致活動によって設置されたことについて資料から読み取り、戦前の千葉市の人々はなぜこのような軍事施設を多く呼び込んだかについて話し合う。
- ③1945年6月10日の千葉空襲は、主に千葉市中心部の軍事施設や交通施設をねらった空襲であり、7月7日の空襲は中心市街地を焼き尽くすことを目的とした空襲であることを動画や資料から読み取る。
- ④当時の千葉市が軍事施設を呼び込んだことと関連させながら、なぜ千葉市はアメリカ軍の大規模空襲をうけたのかについて、当時悲惨な空襲体験を受けた数人の記録を読み取り、「なぜ当時軍時施設を受け入れに千葉市の市民は賛成したのか？」や、また「軍事施設の受け入れに反対できない社会情勢だったのではないか」ということについて補足説明して、グループで相談しながら付箋紙に自分の意見を書く。
- ⑤戦後、鉄道連隊の作業場が千葉公園になったり、千葉市が平和都市宣言を出したりして戦後復興していった歴史を伝え、戦後復興に努力した千葉市民の努力と平和の大切さについて考える。

<活用する資料>

- ◎「軍都千葉と千葉空襲」当館令和2年度特別展図録
- ◎考えよう平和の大切さ（千葉市発行）
- ◎「100人の証言 千葉市大空襲とアジア・太平洋戦争の記録」（100人の証言編集委員会発行）
- ◎貸し出し用千葉空襲写真パネルリスト（千葉市製作）
- ◎鉄道連隊等の千葉市の旧軍事施設の写真

5 指導上の留意点、その他

- ◇この学習は、戦前軍都であった千葉市と千葉空襲を取り上げていますが、当館HPで別の取り上げている「千葉空襲と学童疎開」と、とても関連の深い学習なので、組み合わせると一緒に授業を実施すると千葉空襲から戦後復興にわたる千葉市の歴史の流れが、よく理解できると思います。
- ◇特に千葉空襲で大きな被害を受けた中央区にある小学校は、約80年前は自分の学校が燃えてなくなってしまっています。その歴史的事実は、子ども達にとって6年生社会科の学習として活用していただくと、より効果的に児童に大きな興味関心を引き起こすことができると共に、「**自分の地域の昔の歴史を学ぶ**」地域学習としての意義は大きいと考えます。